

【令和4年度 厚見学園 学校教育評価】の結果より

(1,2,3,4の4段階評価。太字:前年度比アップ、○:前年度比0.2ポイント以上アップ)

	児童生徒		保護者	
	小学校	中学校	小学校	中学校
①学校の教育目標「自分を生かし 人を生かし 共に生きる」を踏まえた教育活動」が行われていると思う。	3.31	3.57	3.34	3.31
②自分の子どもは、毎日楽しく学校に通っている。	3.57	3.45	3.53	3.24
③学校の様々な活動等を通して価値ある体験、感動ある体験ができるよう仕組みされていると思う。	3.51	3.51	3.31	3.26
④わかりやすく、学習意欲を高める工夫がなされた授業が行われていると思う。	3.43	3.54	3.31	3.05
⑤児童は、楽しく英語の学習に取り組んでいる。	3.50		3.18	
⑥児童は、ALTとの会話やデジタル教材などを通して英語に親しんでいる。	3.18		3.05	
⑦互いを理解し合い、認め合いながら生活していくことが大切にされていると思う。	3.45	3.65	3.37	3.29
⑧仲間と協力し共に高め合いながら、自分を伸ばそうとする姿が大切にされていると思う。	3.52	3.64	3.34	3.26
⑨挨拶や身なり、時間行動など、基本的な生活習慣が大切にされていると思う。	3.44	3.75	3.41	3.37
⑩学校や社会のルール・マナーを守り、正しく判断し行動する姿が大切にされていると思う。	3.56	3.75	3.43	3.34
⑪教職員は、子どもの個性や努力を認め、ほめたり励ましたりしていると思う。	3.70	3.61	3.52	3.37
⑫教職員は、生徒指導上の問題に対して家庭や地域・関係機関と連携を図り、素早く対応していると思う。	3.57	3.59	3.52	3.36
⑬教職員は、児童生徒に命の尊さや人権を尊重する態度を育てることを大切にしていると思う。	3.76	3.79	3.53	3.42
⑭教職員は、いじめを許さない指導を徹底し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めていると思う。	3.74	3.70	3.53	3.33
⑮児童生徒は、学校で悩みや心配事があるとき、先生に相談しやすい体制になっている。	3.42	3.34	3.32	○ 3.24
⑯教職員は、明るく元気に児童生徒に接している。	3.73	3.73	3.61	3.55
⑰災害や事故などに対する安全対策や防災教育に力を入れている。	3.81	3.62	3.41	3.26
⑱資源分別回収やボランティア活動など、地域や家庭との連携を大切にされた教育活動を行っている。	3.28	3.73	3.49	3.42
⑲保護者や地域の方からの問い合わせなどに対して、丁寧に対応している。	3.64		3.53	3.51
⑳学校・学年・学級の様子がよくわかるよう、学校だより・HP・学年通信などが発信されている。	3.49	3.53	3.27	3.15
㉑「地域が誇る学校 地域が誇る児童生徒」といえる学校づくりが進められている。	3.66		3.31	3.23

◇「**⑬教職員は、児童生徒に命の尊さや人権を尊重する態度を育てることを大切にしていると思う**」

この項目は毎年高い評価をいただいています。「あったか言葉」「温言」など児童会や生徒会が中心となった活動の定着や人権学習に小中共に全校を挙げて取り組んだ結果であると思います。

◇「**⑯教職員は、明るく元気に児童生徒に接している**」

今年度も高い評価をいただきました。今後も子どもたちに、明るく笑顔で元気に接することを大切にしていきたいと思えます。

◆「**⑥児童は、ALTとの会話やデジタル教材などを通して英語に親しんでいる**」

デジタル環境が年々変化しており、昨年度より数値は上がっています。今後もICT活用推進教師やALT担当教師を中心に職員の研修を積んでいきます。

◆「**⑮児童生徒は、学校で悩みや心配事があるとき、先生に相談しやすい体制になっている**」

昨年度より数値は上がっていますが、今まで以上に日頃から児童生徒に寄り添う姿勢を大切にしたり、多くの職員が児童生徒に関わったりすることで、より一層児童生徒との関係を築き、誰もが安心して過ごせる学校づくりに努めます。

◆「**⑳学校・学年・学級の様子がよくわかるよう、学校だより・HP・学年通信などが発信されている**」

HPについては、学校の教育活動や学校運営の状況が保護者や地域の方々により発信できるよう、職員からだけでなく、児童生徒やPTCAからの発信も行っています。

今年度も保護者や地域の方々には、厚見学園の教育活動を温かく見守っていたこと、また積極的にご協力いただいたことに感謝申し上げます。

コロナ禍での教育活動や働き方改革が問われている中で、ICTの活用も推進され、学校教育活動が変わろうとしています。このような状況の中で、児童生徒の活動が充実し、より楽しい学校生活を送るためにはどうするべきかを考えながら指導や対応に努めていきます。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。